



高温繰り返し酸化試験

様々な雰囲気下での加熱冷却の繰り返しによる材料・部品の酸化試験を行います。

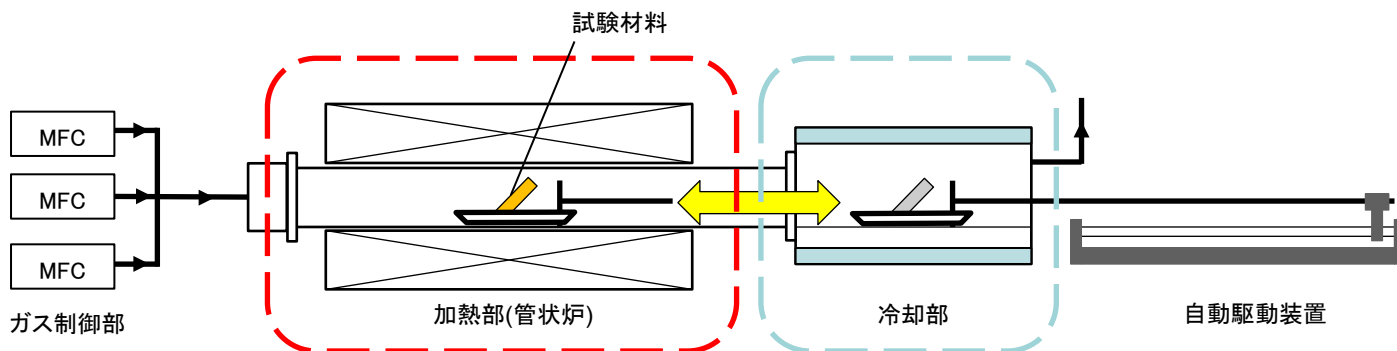
様々な雰囲気に対応した、繰り返し酸化試験

- 高温で使用される材料や部品の中には、一定温度で使用されるのではなく加熱冷却過程を繰り返しながら使用されることがあり、加熱冷却過程が材料および部品に与える影響を評価する必要があります。
- 当社では、従来より行ってきた多様なガス組成の制御技術を生かし、実際に材料や部品が使用される環境に近い条件で耐食性評価など、各種評価を行うことが可能です。

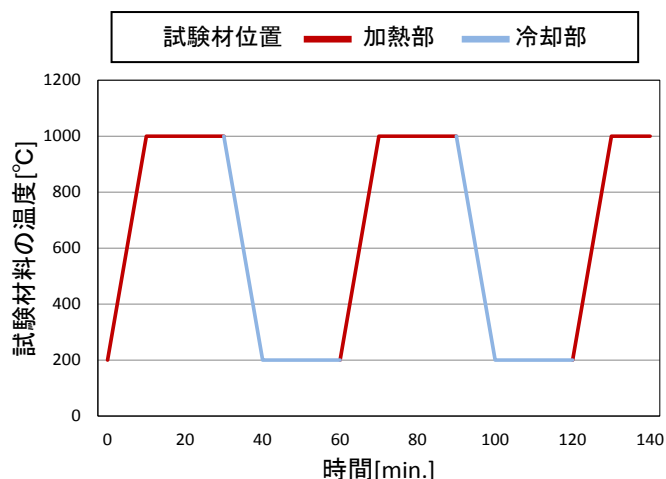
主な特徴	仕様・機能
温度範囲	加熱部: ~1200°C 冷却部: 室温~200°C
雰囲気	N ₂ 、O ₂ 、H ₂ O、CO ₂ 、CO、CH ₄ 、NO _x 、SO _x その他、混合ガス等多様な要求に対応可能
試料寸法	標準: 20mm × 30mm × 2mm (8枚程度の同時試験が可能) これ以外の寸法・形状でも対応可能
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・試験片表面観察(写真撮影) ・試験片単位面積当たりの重量変化測定(酸化増量・質量変化) ・脱スケールによる質量変化測定 ・断面観察(変質層・浸食深さ測定) ・スケールの成分分析(SEM-EDXなど)

試験概要

- 高温繰り返し酸化試験装置概要



- 試験材料の温度履歴例(1時間サイクル試験)



適用試料と利用分野

- ・適用試料: 鉄鋼、ステンレス鋼、その他耐熱材料
- ・利用分野: 自動車の排気ガス部の材料選定など

- ※ お客様の要望に合わせて試験装置をカスタマイズし、評価試験を実施いたします。
- ※ 上記試験以外にも対応いたします。お気軽にご相談ください。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2018 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。